

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	個別の外出は難しい状況であるが、今後、買い物や外食など希望に合わせて外出の機会作りに取り組む方向であるので、その実践を期待する。	町内会の散歩・行事参加。買い物の外出支援。	安全に外出支援が出来るようスタッフの充実。冬には買い物や、冬まつりの見学など積極的に実践していく。	1年
2	35	職員が手薄な夜間を想定した訓練の実施を期待する。また、災害時対応マニュアルを整備し、自然災害や停電等の緊急時に迅速且つ安全に対応、避難できるようシミュレーションや実践的訓練の取り組みを期待する。	年2回実施継続。火災だけでなく、他の災害も想定した内容の取組みをする。町内会長を通じ協力して頂ける様依頼する。	夜間時、地震・水害等の発生を想定し訓練に取り組む。災害時のマニュアルの確認・避難場所の確認をする。	1年
3	6	職員交替もあるので、最新のマニュアルを整備し、身体拘束に関する内容の理解や浸透を図る研修を実施し、全職員で共有する事を期待する。	会議の定期開催の実施。身体拘束の勉強会など行う。	法人本部からマニュアルを早急に用意してもらおう。身体拘束の認知度が低いので、勉強会又は研修などを行う。	1年
4	4	議事録や出欠案内の送付などして、家族の参加を要請しているが少ない状況である。開催日やテーマ内容の工夫などして、今後も参加要請の継続を期待する。	2カ月ごとの開催を継続。	議事録の内容や、開催日を行事後にするなど、気軽に参加していただけるように工夫する。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。